

	事業名	平成28年度 予算額 事業費(千円)	事業実績【毎年評価】 ※数字は28年度計画、()内数字は4年間の合計			事業効果【H30年・H32年に評価】			4年間の事業実施後に 期待される森林の効果
			第2回提示案(6/24)	検証方法	第1回提示(2/3)	第2回提示案(6/24)	検証方法	第1回提示(2/3)	
自然災害から暮らしを守る取組み	危険渓流の流木対策事業	298,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆土石流・流木対策 8(30)危険地区 170ha(750ha) ・治山ダム 12(60)基 ・森林整備 22(120)ha ・流木対策 1,170(4,500)m</li> <li>◆減災対策 ・森林危険情報マップの作成 8(30)箇所 ・防災教室 8(30)回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業の完成検査</li> <li>◆成果品、実施回数の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶30箇所(750ha)の森林の健全化</li> <li>▶30箇所森林危険情報マップ作成、防災教室の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆危険地区の安全の向上 ・危険地区(Aランク、保全対象20戸以上)全て概成</li> <li>◆府民の減災意識の向上 ・対象者の8割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆危険地区の効果検証 ・対象区(対策未実施区)との倒木比較調査 ・植生回復調査 ・土壌の浸透能調査 ・土砂移動量調査</li> <li>◆アンケートの実施(H29年度末に実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶人家(約5,200戸(約1万3千人))、公共施設等(約120箇所)の保全</li> <li>▶森林危険情報マップや防災教室での啓発による安全意識の向上</li> <li>▶災害による約200億円の経済的損失の未然防止</li> </ul>	<p>山地災害の予防、経済損失の予防 約530億円(流木対策200億円 倒木対策50億円 健全な森280億円)★危険地区(Aランク、20戸)の概成率77%↓100%</p> <p>土砂流出の防止【1万3千9百㎡/年】★10tダンプトラック2千5百台の土砂流出を防止 ★コンクリートダムで代替した場合19億円/年</p> <p>緑のダム・洪水の抑制【1千8百万KL】★京セラドーム15杯分★洪水の緩和洪水時ピーク流量2割削減※コンクリートダムで代替した場合5億8千万円/年</p> <p>二酸化炭素の吸収・固定【2万8千トン】★車両1万2千台の年間二酸化炭素排出量★府民8万8千人の年間呼吸量</p>
	主要道路沿いにおける倒木対策事業	254,515	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆倒木対策の実施 ・11(20)路線 ・病虫害等対策 38ha(150ha)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業の完成検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶90箇所(150ha)の森林の健全化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆府内主要道路の通行の安全化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆主要道路沿いの森林の効果検証 ・病害虫の発生状況 ・竹の再発生状況 ・伐採率(7割以内) ※7割以上の場合は補植</li> <li>◆倒木に起因する通行止めの発生回数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶国道・府道(20路線)の保全</li> <li>▶年間、約6,000万台の自動車の安全な通行の確保</li> <li>▶災害による約50億円の経済的損失の未然防止</li> </ul>	
健全な森林を次世代へつなぐ取組み	持続的な森づくり推進事業	321,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆基幹作業道の舗装 8,600(35,200)m</li> <li>◆集積土場の整備 13(60)箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業の完成検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶4,800haの人工林を集約化し、基盤施設を整備 ・基幹作業道の耐久性向上 ・木材集積土場の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆34箇所、4,800haの森林の健全化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆森林経営計画の達成度 ・間伐実績の確認 ・木材供給量の確認 ・府内産材取扱い事業者数の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶4,800haの人工林を持続的な森林管理により森林を健全な状態で維持保全</li> <li>▶集約化団地から8,000㎡/年の木材を供給</li> <li>▶府内の経済波及効果として約20億円/年の生産誘発額と約110人/年の労働誘発量が期待</li> </ul>	
	基盤づくり		◆府内産材コーディネーター H28:10人育成 (森林経営リーダー H29~H31:34人育成)	◆実績の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶森林経営従事者 34人育成</li> <li>▶府内産材の生産・流通コーディネーター 10人育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆木材供給量の確認</li> <li>◆「協定締結数」の確認(締結した森林所有者数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶持続的な森林管理により、森林を健全な状態で維持保全</li> <li>▶川上から川下までの関係者による横断的な連携体制の構築により、府内産材の利用(とりわけ内装材として)を促進</li> </ul>		
	人材育成	1,050	◆搬出体制(年間3,000㎡程度)の構築に向けた事務局の設置(H28:100㎡・H29:300㎡ H30:1,000㎡・H31:3,000㎡) ※未利用材搬出用機材の貸与及び木質バイオマス利用事業者とのマッチング	◆実績の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶未利用材搬出用機材の貸与や技術指導、木質バイオマス利用事業者とのマッチング等を行う窓口の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆未利用材の継続的・安定的な活用の実現 ・森林所有者をはじめとする関係者の理解度の向上 ・3,000㎡の未利用材の搬出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆森林所有者、活動参加者へのアンケートの実施</li> <li>◆実績の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶搬出活動への参加者数の拡大を図り、年間3,000㎡規模の搬出体制を構築し、未利用材のバイオマス利用を促進</li> <li>▶災害時に流出のおそれのある林地残材の除去により森林を健全化</li> </ul>	
	未利用木質資源活用	19,401	◆活動状況を周知 ・地域協議会等の場:5回	◆実績の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶150園の内装等を木質化するとともに、各園の木育リーダーを登録</li> <li>▶4年間でおおさか材450㎡(原木換算で900㎡)の消費[1園当たり3㎡使用した場合の試算]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者(園児、保護者、施設職員等)へのアンケートの実施</li> <li>◆木育リーダーへのアンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶園児や保護者の木材に対する理解を深め、その波及効果による府内産材の更なる消費喚起が図られる。</li> <li>▶身近にある森林資源の循環利用を促進することにより、森林を健全な状態で維持保全</li> </ul>		
子育て施設木のぬくもり推進事業	75,300	◆幼稚園・保育園など子育て施設の内装等木質化を支援 ・30(150)園 ・45(225)㎡を活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施した園数</li> <li>◆使用木材量の確認</li> <li>◆登録人数・活動実績の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶150園の内装等を木質化するとともに、各園の木育リーダーを登録</li> <li>▶4年間でおおさか材450㎡(原木換算で900㎡)の消費[1園当たり3㎡使用した場合の試算]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者(園児、保護者、施設職員等)へのアンケートの実施</li> <li>◆木育リーダーへのアンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶園児や保護者の木材に対する理解を深め、その波及効果による府内産材の更なる消費喚起が図られる。</li> <li>▶身近にある森林資源の循環利用を促進することにより、森林を健全な状態で維持保全</li> </ul>			